

春の雪

布宮慈子^{やすこ}

暖冬と言ひてわづかに緩みたるとき十センチの春の雪降る

春の雪よるのひかりに照らされてわんわんと降るしんしん積もる

春の雪しづもる街に唸りをり午前三時の除雪車のブル

春の雪とほき昔を連れてきて幼きわれはままごと遊びす

春の雪ピッチを白く覆ひたり戸惑ふのみのサッカー少年

春の雪インターネットの向かうには代執行さるる辺野古の海あり

春のゆき市川さんの旅立ちを詳しく記す便り運び来^く

午前五時あわて鴉^{がらす}の鳴く声す明けやらぬ空に春の雪ふはッ

早ばやとタイヤ交換頼みしが迷ふくらゐに降る春の雪

春の雪はげしく降れど日が昇り日の力にて緩んで消えぬ